

令和元年度 県土整備委員会 県外視察の概要

1 参加委員

岡 佑樹（委員長）、原 徹臣（副委員長）、須見 一仁、檜本 孝、
重清 佳之、高井 美穂、古川 広志

2 視察日程及び視察箇所

視察日程	視 察 箇 所
8月6日（火）	平塚市総合公園（神奈川県平塚市）
	横浜港（神奈川県横浜市）
8月7日（水）	荒川下流河川事務所（東京都北区）

3 調査目的及び視察概要

（1）平塚市総合公園

（調査目的）

鳴門総合運動公園は、都市公園として体育施設や文化施設等、県民スポーツの中核的な施設を有し、大規模災害時においては、地域の避難所や救援活動の防災拠点として、重要な役割を担っている。

また、三大国際スポーツ大会のキャンプ地・競技会場の誘致等を見据え、施設の環境改善を推進するとともに、安全で快適な公園利用を図るため、長寿命化計画に基づき老朽化対策を実施している。

そこで、平時は市街地の公園やプロスポーツ観戦、災害時には総合防災基地に利用され、キャンプ地誘致等に取り組む「平塚市総合公園」について、施設の改修計画や維持管理等を調査する。

（視察概要）

平塚市総合公園における施設の改修計画や維持管理等の説明を受けた後、体育館や競技場を視察しました。



（2）横浜港

（調査内容）

本県では、徳島小松島港におけるクルーズ客船の寄港を継続・拡大するため、広域連携等による積極的な誘致活動や受入態勢の充実強化を図り、阿波おどり期間を中心に、国内外からの来場者数が増加しているところである。

そこで、平成29年7月に国際旅客船拠点形成計画の指定を受けた「横浜港」について、港の概要やクルーズ客船誘致の取組等を調査する。

(視察概要)

横浜港の概要やクルーズ客船誘致の取組等の説明を受けた後、大さん橋の視察を行いました。



(3) 荒川下流河川事務所

(調査内容)

本県では、全国に先駆け実施したアドプト支援事業をはじめ、「官民協働型・河川維持管理システム」や民間事業者と協働し、堆積土砂を除去する「河川安全・安心協働モデル事業」の導入など、官民連携による新たな維持管理を推進し、河川の環境改善等に取り組んでいるところである。

そこで、様々な地域や市民との連携推進事業を実施する荒川下流河川事務所の取組等について調査する。

(視察概要)

荒川下流河川事務所における災害対策やキッザニア、ミズベリングの取組等の説明を受けました。

